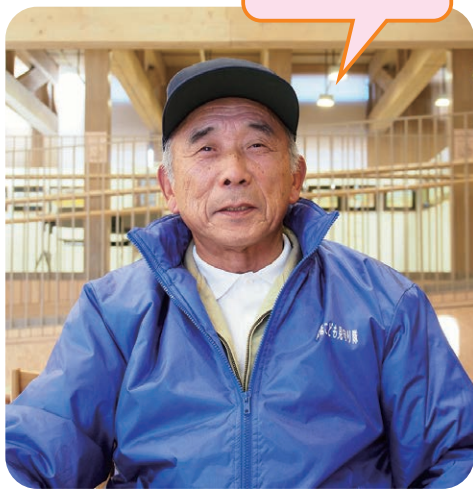


子ども達の笑顔
はいい刺激です



高橋 清吉 さん (荒砥地区)

ボランティア

白鷹の未来を彩る

… 下校時の安心を子供たちに …

下校時見守り活動をしている、荒砥子供見守り隊の高橋さんにお話を伺いました。

どんな活動ですか

主に小学校の下校時間に合わせて、子供たちの見守り活動を行っています。場合によっては中高生や高齢者の方も見守ります。

活動のきっかけは

地域に何か手伝えることがあればと思い、子供見守りが頭をよぎりました。昔は子供を面倒見てくれる人が地

域にはいたものです。地域ぐるみで子供を育てられればと思います。

仲間づくりは

一人ではなかなかできるものではなく、同じ気持ちを持つている人はいないかと、仲間を誘いました。

歩け歩けをしている知人に、週一回でもいので通学路をその時間歩いてもらえないかお願いしました。仲間が仲間を紹介してくれ、現在は12名で活動しています。

見守り隊の特徴は

長く継続できるように、気遣いを極力少なくしています。用事などで参加できなくても連絡はしなくてもいいようにしたり、自分のできる時間に気軽に参加してもらったり、自主性を尊重しています。

活動の際、心がけていることは

道草をしている子供

にも「早く帰れよ」ではなく「家の人が待っているよ」等柔らかく声をかけています。子供達には、いつも見ているよという発信をしているつもりです。また歩きながらや健康づくりしながら等、ながら見守りをしています。それが活動を継続できる一つでもあります。

良かったことは

子供達も慣れてきてくれています。子供達の、笑ったり騒いだりしている姿や声はいい刺激にもなっています。逆に子供達にお礼を言いたいくらいです。地域の子供は地域で守る。それを我々が手伝わせてもらっている感じです。学校の先生方からの感謝の言葉も励みになっています。

議会へひとこと

議会報のおかげで活動内容がわかるのはありがたいです。活動がわかれば、さらに信頼や期待も高まります。また、議員の方々は我々の代弁者として、すべてのことを分かってもらい、議論してほしいですね。

取材を終えて

子供と地域の関係が希薄になりつつある現代社会において、「地域で子供を育てる」ことの大切さを改めて感じました。

(竹田)



編集後記

新年あけましておめでとございます。

昨年は、大型台風が次々と日本列島を襲い、建物の倒壊、河川の決壊・氾濫等甚大な被害が発生しました。当町では人的被害は無かったものの、農業用施設等に大きな被害がありました。

災害は、「忘れた頃にやってくる」と教えられたものですが、最近では「忘れないうちにやってくる」と改めなくてはならないと感じました。

今年も十二支の中でも最初の「ねずみ年」です。そして東京オリンピック・パラリンピックの年でもあります。日本がそして白鷹が飛躍する年にしたいと思います。(金田)

広報委員

- 委員長 原 俊一
- 副委員長・編集長 横 山 和 浩
- 委員 丸 川 雅 春
- 委員 竹 田 雅 彦
- 委員 金 田 悟
- 印刷・長谷川印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。